

※スペース節約のため、ベクトルを横に書きます。縦で書き直した方が計算しやすいと思います。

1. 次の線形写像 f_i について、その核 (kernel) と像 (image) の基底を一組ずつ求めよ。また f_i について次元定理が成り立っていることを確認せよ。

$$(1) f_1: \mathbf{R}^2 \rightarrow \mathbf{R}^1, \quad f_1(x, y) := x - 3y$$

$$(2) f_2: \mathbf{R}^2 \rightarrow \mathbf{R}^2, \quad f_2(x, y) := (x + 2y, 2x + 4y)$$

$$(3) f_3: \mathbf{R}^2 \rightarrow \mathbf{R}^3, \quad f_3(x, y) := (x + 2y, 2x + 4y, 3x + 5y)$$

$$(4) f_4: \mathbf{R}^3 \rightarrow \mathbf{R}^2, \quad f_4(x, y, z) := (x + z, y + 3z)$$

$$(5) f_5: \mathbf{R}^3 \rightarrow \mathbf{R}^3, \quad f_5(x, y, z) := (x + 2y + z, x - y + 3z, 3x + 3y + 5z)$$

2. (教科書 p. 147, 定理 5.11 参照) A を $n \times m$ 行列とし、 $f: \mathbf{R}^n \rightarrow \mathbf{R}^m$ を $f(\mathbf{u}) := A\mathbf{u}$ で定義する。

(1) $\text{rank } A = r$ とおく。 $\dim \text{Ker } f = n - r$ であることを示せ。(ヒント: $A\mathbf{u} = \mathbf{0}$ の階の自由度の意味を考えよ)

(2) 次元定理を使って $\dim \text{Im } f = \text{rank } A$ を示せ。

補足. 線形写像 $f: \mathbf{R}^n \rightarrow \mathbf{R}^m$ について、 $\text{Ker } f$ を求めるのは比較的簡単で、 $\text{Im } f$ を求めるのは多少面倒です。例えば

$$f: \mathbf{R}^3 \rightarrow \mathbf{R}^3, \quad f \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} := \begin{pmatrix} x + 2y - 2z \\ 2x - y + z \\ 3x + y - z \end{pmatrix}$$

という線形写像を例にとりて考えてみます (線形であることを確認してみてください)。まず

$$\text{Ker } f = \{ \mathbf{v} \in \mathbf{R}^3 \mid f(\mathbf{v}) = \mathbf{0} \} = \left\{ \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} \in \mathbf{R}^3 \mid \begin{array}{l} x + 2y - 2z = 0 \\ 2x - y + z = 0 \\ 3x + y - z = 0 \end{array} \right\}$$

は、連立 1 次方程式の解全体のなす部分ベクトル空間です。この方程式を解くと $x = 0, y = z$ となることを確かめてください。よって

$$\text{Ker } f = \left\{ \begin{pmatrix} 0 \\ y \\ y \end{pmatrix} \in \mathbf{R}^3 \mid y \in \mathbf{R} \right\} = \left\langle \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix} \right\rangle$$

であることがわかります。 $\dim \text{Ker } f = 1$ です。

次に $\text{Im } f = \{ \mathbf{w} \in \mathbf{R}^3 \mid f(\mathbf{v}) = \mathbf{w} \text{ となる } \mathbf{v} \in \mathbf{R}^3 \text{ がある } \}$ を考えてみます。 $\text{Im } f$ のベクトルは

$$f \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} x + 2y - 2z \\ 2x - y + z \\ 3x + y - z \end{pmatrix} = x \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 3 \end{pmatrix} + y \begin{pmatrix} 2 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix} + z \begin{pmatrix} -2 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix} = x \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 3 \end{pmatrix} + (y - z) \begin{pmatrix} 2 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

の形になりますから、 $\text{Im } f$ のベクトルは右辺の 2 つのベクトル $\mathbf{w}_1 := \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 3 \end{pmatrix}, \mathbf{w}_2 := \begin{pmatrix} 2 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix}$ の 1 次結合となることがわか

ります。よって $\text{Im } f = \langle \mathbf{w}_1, \mathbf{w}_2 \rangle$ で、 $\mathbf{w}_1, \mathbf{w}_2$ は 1 次独立であることが確かめられるので、 $\mathbf{w}_1, \mathbf{w}_2$ は $\text{Im } f$ の基底となり、 $\dim \text{Im } f = 2$ です。 $\text{Ker } f$ の計算は連立方程式を解くだけなのに対して、 $\text{Im } f$ の計算は式変形に多少の工夫が必要で、やりにくく感じるのではないかと思います。

しかし、 $\dim \text{Im } f$ を求めるだけなら次元定理が便利で、上の例の場合は $\dim \mathbf{R}^3 = 3, \dim \text{Ker } f = 1$ は比較的容易にわかりますから

$$\dim \text{Im } f = \dim \mathbf{R}^3 - \dim \text{Ker } f = 3 - 1 = 2$$

であることは $\text{Im } f$ の基底を求めなくてもわかります。あらかじめ $\dim \text{Im } f = 2$ を知っておけば、 $\text{Im } f$ の基底は 2 個のベクトルからなるはずだとわかるわけですから、多少は計算の見通しが良くなるかもしれません。